

保護者・地域の皆様と共に育てる赤坂小の子

平成23年度 学校経営計画

平成23年4月6日

港区立赤坂小学校長 小澤 隆治

港区立赤坂小学校に新しい1年生を迎えて平成23年度がスタートしました。本年度の学校経営を進めるにあたって、その計画を述べさせていただきます。

子どもたち一人一人が、毎日を健康で明るく、楽しく、安心して安全な学校生活を送ることができるように、保護者や地域の皆様と心を合わせて学校づくりに取り組んでいきます。

そのための学校経営の基本理念や学校教育のあり方を次のように考えています。保護者、地域の皆様におかれましては、それぞれのお立場で、子どもたちがすこやかに育っていくことができるようにお力添えを賜りたくお願い申し上げます。

学校経営の基本理念

人間性豊かに、たくましく生き抜く子どもの育成をめざして、子ども中心主義を基本とした、特色のある開かれた学校づくり。

I 赤坂小の教育

心もからだも健康で明るい子どもを育てることは、どのような時代にあっても教育の根本的な目標です。本校の教育もこの目標をもとに地域や子どもの実態を踏まえ、設定した教育目標の実現をめざして、次のように具体的な教育活動を推進します。

1 『やさしさと思いやりのある子』を育てる学校

○心とからだの健康づくりを進めることにより、豊かな心を持ち自ら正しく判断して行動する子どもに育てていきます。

○すべての教育活動を通して生命をいつくしみ、自然を大切に作る心や美しいものを美しいと感じる感性が身につくような子どもに育てていきます。

○品性や品格の感じられる言葉遣いや振る舞いを心がけ、「心とかたち」が身につくような子どもに育てていきます。

そのために、次の点を重視して指導にあたります。

▽「心を育てる教育」を推進するため、道徳の時間の充実を図るとともに、体験活動を取り入れた授業や地域の人々との協力、連携を図った授業などを工夫します。

▽自然体験や保育園、幼稚園、中学校との連携を図るとともに、ボランティア活動、

高齢者や障がいのある人とのふれあいや交流を積極的に進めます。

▽音楽朝会や音楽会、造形活動、読書活動等豊かな心を育む活動の充実を図ります。

2 『よく学びよく遊ぶ子』を育てる学校

○どのような学習にも一人一人の子どもが主体的に取り組む能力や態度が身につくように育てていきます。

○各教科等及び総合的な学習の時間を通して、論理的に考える力や追究する力、表現する力などが身につくような子どもに育てていきます。

そのために、次の点を重視して指導にあたります。

▽子どもたちの学ぶ意欲を高め、自ら学び自ら考える力を育てることを指導のいろいろな場面で工夫します。

▽体験的学習や問題解決的な学習を取り入れ、さまざまな体験にかかわることによって楽しさや「なぜだろう」「こう考えたらいいかな」「わかった、できた」といった子ども主体の学習を展開することで達成感や自己実現の喜びを味わわせま

す。

▽個性や能力に応じた指導により、創造力、思考力、判断力、表現力を育てます。

▽算数における少人数学習集団による指導、各教科等及び総合的な学習の時間における学年合同授業や専科教諭等とのティームティーチングなどを工夫します。

3 『心と体をきたえる子』を育てる学校

○社会や集団の一員としての自覚を高め、協力、協調して活動する力が身につくような子どもに育てていきます。

○異世代や異年齢、外国人の人たちとかかわることにより、思いやる心や連帯感、共生の意識をはぐくむとともに、自主、自立とコミュニケーション能力が身につくような子どもに育てていきます。

そのために、次の点を重視して指導にあたります。

▽働くことや人のために役立つことの大切さや喜びに気づかせ、責任感や行動力を育てます。

▽いろいろなことに進んでかかわり、よりよいものを求めて力を合わせたり、責任を果たし助け合ったりする体験を通して、成し遂げた喜びを味わさせます。

▽地域のとのかかわりを通して、地域の中で学んだり体験したりすることにより、地域を愛する心をはぐくみます。

▽ファミリー活動や集会により人とのかかわりを広げます。

4 保護者・地域と共に歩む開かれた学校

- 教育活動を常に公開し、「見える、納得できる、説明できる」教育を推進します。
- 保護者や地域の願いや期待、意見や要望は学校をより良くするための貴重な情報と受けとめ、それらを反映した経営に努めます。
- 情報を適切に発信し、保護者、地域との信頼関係に基づく連携と協力により、「子どもを共に育てる」姿勢をもちます。

II 赤坂小の子ども

どのような子どもに育てていくかを考えて、日々の教育活動を行っていくことは、学校にとって基本的なことです。それを教育目標として具体的に示しています。

本校の教育目標は「やさしさと思いやりのある子」「よく学びよく遊ぶ子」「心と体をきたえる子」です、そのためには、「やさしさをもち、よく考え 心も体もたくましく仲良く助けあうことのできる子ども」の育成が必要です。すべての教育活動を通して、次のような子どもの姿を求めています。

1 『やさしさと思いやりのある子』

- 基本的な生活習慣を身につけ、健康で元気に、活力ある生活ができる子。
- 様々な体験に積極的にかかわって、広い心や温かい心、やさしさや思いやりをもてる子。
- 美しいものと出逢って、心をときめかすことができる子。
- 芸術、文化にふれて情操を豊かにし、自分の得意なことを見つけてそれを伸ばすことができる子。
- 地域の自然、人、史跡などのかかわり、交流を通して、自分の生き方を考えることができる子。

2 『よく学びよく遊ぶ子』

- すすんで学び「できた、わかった」ことに喜びを感じ、さらに伸びようとする子
- 学習の基礎・基本を確実に身につけるために、あきらめないで粘り強く努力する子。
- 自分の考え方を大切に、友達のを考え方を受けとめて、それを生かそうとする子。
- 自分の考え方や生き方に自信をもち、すすんで表現する子。
- 自分と違う見方や考え方を柔軟に受け入れて、自分のよさを見つめ、伸ばすことができる子。

3 『心と体をきたえる子』

- 相手の立場に立って考えたり行動したりすることができる子。
- だれとでもすすんでかかわって、好ましい人間関係を築く子。
- 勤労や奉仕体験の価値を知って、心をこめて取り組むことができる子
- 自分の役割を自覚し、責任を果たすことができる子。
- 困難なことにもくじけずに、助け合って最後まで粘り強く取り組む子。

III 本年度の取組目標と方策

- 各教科の基礎・基本がどの子どももしっかりと身につけることができるような授業を展開し、どの子どももテストで90点以上とれるようにします。
- 「総合的な学習の時間」では、体験的を通して学んだり、自分の課題を追究したりする活動によって、かかわる力や考える力、表現する力を育てていきます。
- 各種学校行事の活動を通して、子どもたちの創造力、思考力を育てていきます。
- 地域の自然や文化遺産を大切に活動の充実を図ります。
- ファミリー活動、JRC活動、全校清掃活動などを行い、健全な社会人を育成するための基礎を培います。
- リーディングアドバイザーリースタッフによる読み聞かせやネイティブティーチャーと学級担任による国際科の授業、国際理解教育を推進します。
- 屋内プールを利用して水泳指導を行い、100m皆泳を目指します。
- 勝海舟ゆかりの「咸臨太鼓」を継承します。
- 年間計画に基づいた基礎、基本習得のための朝学習を行います。
- 情操教育の充実を図るための音楽朝会、全校音楽会、展覧会を行います。
- 体力向上を図る運動会、体育朝会、縄跳び大会、持久走を行います。
- 港区学校版IS1401認定校としての環境教育の一層の推進します。
- 外部講師による食育、環境などの授業を行います。
- 保護者・地域の皆様、学校運営協議会委員による学校評価の結果を反映させた学校運営に努めます。
- 学校ホームページによる適時、適切な情報の発信、更新を行います。
- PTAや地域の皆様、赤坂警察など関係機関との連携と協力により、子どもたちの事故の未然防止や安全確保など、安全確保に努めます。
- 新規採用教諭や若手教諭の人材育成については、本校のOJT計画により、主任教諭が教諭を、主幹教諭が主任教諭を、校長、副校長が主幹教諭を指導、育成します。
- 地域との連携を図るため、地区委員会やPTA主催の行事、地域行事には多くの教員が参加します。